

羅針盤

2013年度 第18号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2014.2.19



いよいよ多くの私立大学の個別入試が行われています。66期生が頑張っていることと思います。応援しましょう！

ところでみなさんは、大学入試で合格するのに必要な点数はどのくらいだか知っていますか？昨年度つまり2013年入試における合格最低点を公表している私立大学のデータが旺文社の「螢雪時代8月臨時増刊（2013年7月刊行）」にまとめてありますので、ごく一部を下に引用しました。

大学名	学部	学科	入試名	合格最低点	満点	合格最低点 得点率 (%)	募集 人員	受験 者数	合格 者数
青山学院	文	英米文	個別A	235	400	58.8	140	1153	328
	理工	電気電子	個別A	292	450	64.9	30	611	144
中央	経済	経済	一般	230	350	65.7	171	3222	471
	理工	情報工	一般	207	300	69.0	40	1052	162
明治	商	商	一般	243	350	69.4	450	6339	1053
	理工	情報科	一般	262	360	72.7	60	1178	239

大雑把に言って、得点率6割～7割で合格しています。つまり、「3問に1問くらいは間違えても大丈夫なのだ」と思うと、ずいぶん気が楽になりませんか？

今年についても、いくつかの大学の入試問題は、大手予備校のホームページなどで閲覧することができます。1, 2年生のみなさんも時間があれば覗いてみてください。参考までに下に問題を紹介しますのでチャレンジしてみましょう。正解は一番下にあります。

This project helped me to learn more about the students I am teaching, and taught me more about how I can help each of my students _____ about becoming better writers using their current writing abilities.

- (a) grow exciting (b) grew excited
(c) grow excited (d) grow to excite

上智大学 2月3日 法学部・外国語学部他

15の15乗は何桁の数字か？ただし、 $\log_2 3 = 0.3010$ $\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

明治大学 2月5日 全学部

立命館大学

二月二日

文学部・理工学部他

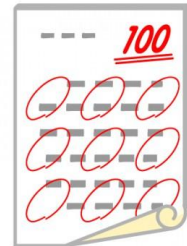
- 5 3 1
集中していること 時間が忘れること 目がくらむこと
6 4 2
落ち着かないこと 気があせること 尊敬していること

傍線部に「めぐるめく」とあるが、このことばの意味として、最も適切と思われるものを次の中から選べ。



今月は1年生、来月は2年生が実力テストに臨みます。みなさんはテストが終わった後、どうしていますか？自己採点で点数を確認したり、返却された資料で志望校の判定を確認したりすることも重要ですが、もっと大事なことは、「答案の中から自分の改善点を見つけ出す」ことではないでしょうか？「今回は英語が良かった」とか「校内での順位が10番上がった」とかの一喜一憂の感想だけで答案をしまい込んでしまったりしては、本当にもったいないことです。

学校としても、実力テスト直後にはできるだけ「振り返り」の時間を設定して、再確認の時間をとってもらっていますが、やはりそれだけでは不足なので、ぜひ試験直後と答案返却後にそれぞれ数日という時間をかけて、自分で見直しをしてみてください。



同じような趣旨の呼びかけは予備校や塾でもしていると思いますが、2013年6月3日(月)放送のNHK-E TV「テストの花道」という番組で、「テストはお宝だ！ 解き直しの極意」というタイトルで放送された内容が面白いので、一部を下に紹介します。

★この回では成績を上げるための宝物である「テスト」に注目！学校でよく聞く「テストを見直せ」という話。しかし具体的な方法まではなかなか教えてくれない。自分の間違ったところを「分析」し、「教訓」を引き出し、知識をしっかりと定着させる具体的な「解き直し」の方法を紹介するぞ。

(中略)

一番やってはいけないのは、解答や解説を読んでわかったつもり、勉強したつもりになる事。重要なのは、あやふやではなく知識を確実なものにすることだ。まず単純な計算ミスや書き間違いなどの「ケアレスミス」は、すぐに解き直して再確認。解き直し専用のノートを作成したり、見直しで見つかったミスの傾向をリストにして、問題用紙にまず書くようにしたりするのもオススメだ。「全くわからない」「見たことあるけどできない」問題は、解説だけ見てわかったつもりだと似た問題が出た時に、同じ落とし穴にハマる可能性が大きい。穴を自分で埋め、深く確実に理解しなくてはならないのだ。

そこでオススメするのが、「人に教える勉強法」。

人に教える事を意識して勉強する事で「知識の理解度」や「記憶の定着が大きく変わってくる」というもの。教科書や資料集などを使って、とことん調べ、始めて聞いた人にも理解できるように見出し、内容、理由、影響、結論と流れを作っていく。そして実際に人に教えるつもりで、しゃべりながら覚えていく。もし途中で詰まったら頭に入っていない証拠。とことん繰り返そう。こうして、自分の中の「わからない」をなくそう。

ここまでのステップを踏んだあとに、何も見ないで挑戦。解き直しは1回ではなく、数日置いてもう一度やればより効果的だ。これで一連の見直しは終了。

先輩によると、テストの見直しは、ホットなうちにやるべしとのこと。模試でも定期テストでも、終わった直後の記憶が鮮明なうちに2回。そしてもう一つのチャンスが答案用紙が返ってきた時。2回やる事で反復にもなり、効果的だとか。

キミもポイントを押さえて、テストをお宝に変えてみてくれ！！ (引用おわり)

どうですか？なかなか参考になりますよね。特にお勧めしたいのは、「解き直し専用のノートを作成」という部分です。これで成績が大幅上昇した人がかなりいるそうですよ。ぜひお試しあれ！

以上